

お知らせ

2020年3月31日
九州電力株式会社

玄海及び川内原子力発電所の2020年度新燃料等輸送計画をお知らせします

2020年度の新燃料、使用済燃料及び低レベル放射性廃棄物の輸送計画について、下記のとおりお知らせします。

記

1. 新燃料（受入）

な し

2. 使用済燃料（搬出）

な し

3. 低レベル放射性廃棄物（搬出）

発電所名	輸送数量	輸送時期	搬出先
玄 海	輸送容器 215 個 (ドラム缶 1,720 本)	2021 年 2 月	日本原燃(株) 低レベル放射性廃棄物 埋設センター
川 内	な し	—	—

注) 現時点での計画であり、今後変更になる可能性があります。

(参考)

【使用済燃料】

原子炉内での燃焼（核分裂）を終え、使用済みとなった燃料

【低レベル放射性廃棄物】

原子力発電所の放射線管理区域内で発生した、放射能レベルの低い、金属片や廃液等の廃棄物をモルタル等で固化し、ドラム缶に収納したもの

以 上



ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」

そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。

それが、私たち九電グループの思いです。